

# 地域ケア圏域会議 取組状況と課題

圏域	日時・会場	参加者・数	テーマ	検討事項	検討結果	検討を通じて把握された課題
練馬	平成29年12月21日(木) 14:00~16:00 ココネリ・ホール	民生委員、町会・自治会、警察署、信用金庫、消費生活センター、見守り訪問員、家族会、介護支援専門員、主任会議支援専門員、高齢者相談センター(本所・支所) 計 68名	消費者被害を通じてひとり暮らし高齢者の見守りについて考える	<ul style="list-style-type: none"> <li>・警察署および信用金庫から、消費者被害等に関する現状について報告をいただき、関係者間での情報共有を図る。</li> <li>・全国消費生活相談員協会に出前講座を依頼し、高齢者の見守りのポイント等について学ぶ。</li> <li>・消費者被害から高齢者を守るために、地域での見守りについて、グループワークで検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・練馬警察署管内で高齢者の詐欺被害が急増している状況や、信用金庫における「還付金詐欺防止策」の状況などについて情報提供をいただき、参加者間で共有することができた。</li> <li>・民生委員の方から、訪問時に高齢者ご本人のお話を聞き、消費者被害の相談をされればいろいろ提案できるが、済んでしまったことだと対応が難しいとの意見が出された。</li> <li>・地域ごとのグループワークを通じて、地域での声掛けや顔の見える関係づくりの重要性が再確認された。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者を対象とした特殊詐欺については、様々な手口による被害が増加しているため、ひとり暮らし高齢者の見守りや詐欺被害の防止対策などさらなる充実が必要である。</li> <li>・地域ケア会議への参加者が共有した情報を、地域住民へどのように周知するか具体的な検討が必要である。</li> <li>・高齢者が実際に被害にあった際に、近隣住民や地域包括支援センターが早急に関係機関に繋げるためのさらなる連携が必要である。</li> </ul>
光が丘	平成29年12月14日(水) 14:00~16:30 光が丘区民センター	民生委員、消防署、ボランティア・地域福祉推進コーナー、介護支援専門員、高齢者相談センター(本所・支所) 計 62名	地域で生活する高齢者を支える力についての検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険で補えない部分の生活課題に関して、ご近所で支援している事例を通じ、事業者と地域がつながり好循環を生み出している要因を検討する。</li> <li>・地域で高齢者の方々が寄りあえる場や様々な生活支援の情報をグループワークで共有し、地域と繋がる実践力を高める。</li> <li>・高齢者相談センター支所で開催した地域ケア個別会議の内容や地域の課題等について、地域の関係者と共有する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者を取り巻く様々な課題解決への取り組みは数多く存在するが、支援者間での十分な情報共有が必要であり、それらの活用のノウハウについても蓄積の重要性が確認できた。</li> <li>・特に認知症状のある方の支援については、介護保険サービスだけではなく、地域の緩やかな見守りや支え合いが必要となるケースが多く、地域との繋がりがより必要となってきたとの意見があった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域で活動している団体や近隣住民の方々と介護保険事業者の連携を促進する機会が必要であり、生活全体を包含して高齢者を支援できる体制づくりが課題である。また、それぞれの活動を周知・マッチングする場も必要である。</li> <li>・今後はより地域のつながりを大切に捉え、地域と事業者の関係を良いものにするために、それぞれの状況を共有する機会としての地域ケア個別会議を活用する必要がある。</li> </ul>
石神井	平成29年12月15日(金) 14:00~16:00 石神井庁舎会議室	民生委員、町会・自治会、警察署、社会福祉協議会、消費生活センター、コンビニエンスストア、介護家族の会、地域住民ボランティア、生活支援員、介護支援専門員、介護サービス事業者、高齢者相談センター(本所・支所) 計 76名	地域の見守り活動と困りごと	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民生委員等の地域の関係機関と地域包括支援センターとの連携について検討する。</li> <li>・地域サロンなどにおける見守り機能の意義について、関係者間で検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町会、自治会の活動が盛んな地域もあり、役員が中心となって見守り活動が行なわれている事例について情報共有ができた。</li> <li>・下石神井地域で運営するコミュニティショップ「ウェルカム」の活動について紹介をいただいた。買い物支援や交流の場などの活動内容について情報共有するとともに、集いの場における高齢者の見守り機能について検討した。</li> <li>・高齢者のサロン機能として、コンビニエンスストアの活用や地域との連携について検討した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者が気軽に外出し地域の集いの場に行くために、外出支援をしてくれるボランティアの充実が必要である。</li> <li>・認知症カフェなどを活用した、認知症の方とボランティアの方とが繋がるための取り組みの充実が必要である。</li> <li>・高齢者のみならず、障害のある方の集いの場についても不足している状況にある。</li> </ul>
大泉	平成30年1月24日(水) 14:00~16:30 勤労福祉会館	民生委員、認知症家族会、地域団体、リハビリ職団体、薬局薬剤師、敬老館、地区区民館、社会福祉協議会、コンビニエンスストア、特別養護老人ホーム、有料老人ホーム、介護支援専門員、福祉事務所、高齢者支援課、高齢者相談センター(本所・支所) 計 79名	大泉地域のマップ作りを通して地域を知る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者相談センター支所で開催した地域ケア個別会議の内容や地域の課題等について、地域の関係者と共有する。</li> <li>・練馬区における街かどケアカフェについての情報提供および実施状況の報告を行う。</li> <li>・支所圏域ごとにグループを分け、用意した各地域のマップをもとに、どのような社会資源や地域課題があるのか、参加者間で共有と意見交換を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者相談センター支所で開催した地域ケア個別会議の内容や地域の課題等について共有することができた。</li> <li>・練馬区における街かどケアカフェの目的や種類等について情報共有ができた。</li> <li>・グループワークを実施することで、各地域の様々な社会資源に関する情報を共有したり、地域団体等の活動内容についても知る機会になった。また、地域課題や不足している資源について検討することができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会資源マップの情報については、随時情報の更新や充実を図るとともに、地域の状況把握や地域課題の抽出についてもあわせて検討する必要がある。</li> <li>・社会資源マップの作成にあたっては、様々な地域の関係者に参加してもらい意見交換を行うことで、情報共有を図る必要がある。</li> <li>・高齢者のみでなく様々な世代が利用でき、地域に開放されている場をリスト化し、地域で共有を図る必要がある。</li> </ul>